

経尿道的膀胱腫瘍切除術(TUR-BT)を受けられる患者様へ～入院診療計画書～

泌-5.14-1

氏名		様		病名:	症状:	平成 年 月 日			
経過	 入院時 手術前日			<b>手術</b> 手術には 時 分にいきます				 退院日	
				手術当日		術後1日目	術後2～3日		
月 日				手術前	手術後	退院日は患者様によって異なります			
目標	不安なく手術を受けられるようゆっくり休みましょう 心配事や眠れないときは早めに看護師に知らせましょう			管のいずさや痛み吐き気等つらい症状があるときはすぐ 看護師に知らせましょう 歩行許可が出たらがんばって歩きましょう		管を抜いた後、血尿や変だなと感じたら早めにお知らせ下さい			
食事	 ご飯はたべられます	 朝昼食べられません	 看護師が麻酔が覚めたのを確認後飲水から始めます	 水分は多めに摂るよう心がけましょう					
安静度	 安静度は自由です	手術室には歩いて行きます。歩けない方は移送車で行きます。		 ベッド上安静	午前中の回診で医師の許可ができれば歩行可				
排泄	 尿を溜める必要はありません		 状態を見て座薬をします	手術中に尿の管が入ります。 また、管の閉塞を防ぐため洗浄する場合があります		血尿の状態をみて午前中の回診で尿の管を抜きます。 管を抜いた後の1回目の尿はカップにとって見せて下さい。翌日退院です。			
清潔	 入浴しましょう		安静のため入浴はできません			身体を拭きます	シャワー浴出来ます		
内服薬 点滴	 内服薬を確認します	 薬剤師より薬について説明があります	時常用薬を飲みます  時頃点滴をします	★手術中抗生物質の点滴をします ★痛い時は痛み止めの注射や坐薬をします 痛い時は我慢せず申し出て下さい ★食事が開始になると内服薬も開始します。		★常用薬(抗凝固剤)は医師の指示で再開になります		退院時服薬指導(薬剤師)	
	時以降食べられません		時以降水分はとらないでください						
検査				酸素吸入をします 心電図モニターを装着します					
説明・指導	 入院、手術の流れを説明します	 麻酔科医による麻酔説明があります	<b>注意</b> <手術室へ行く前に> 貴重品は家族又は金庫に保管して下さい 眼鏡、入れ歯、指輪、カツラ等ははずします(補聴器はつけたままで行きます) 御家族の方は手術中病棟内でお待ち下さい			術後説明	退院後の治療について説明します 組織の結果は外来でお話します		
	特別な栄養管理の必要性 (有) ・ 無					40歳以上の方は、別紙《総合機能評価表》を用いて総合的な機能評価を行う場合があります。			
備考	 何かわからないことがある時はいつでも申し出て下さい	《手術に必要な物》 平オムツ2～3枚 T字帯1枚		主治医	看護師: 薬剤師: 栄養士:	旭川赤十字病院3階きた病棟			